

紅龍 (こうりゅう)

品種固定率 80%

緋メダカでも楊貴妃メダカでもない 紅に染まるメダカ、紅龍

鱗のふちに赤銅色の規則的な模様が現れる品種で、楊貴妃メダカをベースに作出されたメダカです。一見、楊貴妃メダカと間違えられることもありますが、特徴的な鱗と、透明感のある身体は、楊貴妃メダカのもつ美しさとはまた違った味わいを見せてくれます。色が揚がるにつれ、体色は朱色というよりもどんどん紅色に近づいていくため、じっくりゆっくり色揚げを楽しむのも乙かもしれません。

鮮やかな発色を楽しむため、アオコの湧いた水と太陽光が当たる屋外飼育がおすすめです。屋内飼育の場合は、黒のバックスクリーンを水槽に貼ると色が映えます。どんどんエサを与えて、色を揚げて美しく育ててください。非常に丈夫なメダカですので、是非繁殖にも挑戦してください。

斑虎 (ぶちとら)

品種固定率 50%

優雅な虎模様と変化を楽しみたい方へ

美しい朱色の体に、薄く浮かび上がる虎模様の墨。この斑虎の墨模様は、柔らかいタッチで描かれた山水画のようです。斑虎が水槽や鉢の中を泳ぐ様子は、優雅そのもの。成長や環境によって墨模様が変わることも、斑虎を楽しむ上での醍醐味の一つです。また、楊貴妃メダカがベースになっているため、成長に伴い体色もどんどん美しい朱色に変化していきます。斑虎が見せてくれる様々な表情の変化を楽しんでみるのはいかがでしょうか。



黒虎 (くろとら)

品種固定率 10%



虎メダカの真骨頂、ここに誕生

楊貴妃メダカ由来の目の覚めるような朱色の体にくっきりと浮かび上がる紋様。これこそが“黒虎”と呼ばれる所以です。模様が入る個体は虎メダカと呼ばれますが、黒虎は体の半分以上を紋様に覆われており、錦鯉の評価基準にも用いられる『際 (きわ)』の鋭さ (簡単に言うと、どれだけ紋様がはっきり現れているか) が最重要視されています。厳しい選別をくり抜けてきた個体のみが“黒虎”の名を冠することを許されているため、なかなかお目にかかることはできません。色揚げりに伴い、際も鋭さを増しどんどん美しくなります。じっくり飼い込み、上見で観賞してください。

赤頭龍・黒 (せきとうりゅう・くろ)

品種固定率 70%



幻の逸品への入門種！赤頭龍メダカ

頭部に強く緋色が入り、体全体が薄墨で覆われたメダカです。緋色ベースの体色に浮き上がる鱗の紋様は龍鱗を彷彿とさせ、色が揚がるほどに際立ちます。また、両方の鰓蓋が透明になっている『完全透明鱗』であり、横見での観賞も楽しめます。この『完全透明鱗』の親同士から生まれるメダカたちは、透明鱗である確率が非常に高く、透明鱗メダカの作出の種親としても優秀なメダカです。さらに、赤頭龍の子どもからは、わずかではありますが、紅白・三色といった錦鯉のようなメダカも誕生します。観賞して良し、殖やして良しの大変価値あるメダカです。